

報道関係の皆様へ

日本の子宮頸がん検診率42.1%。これは主要先進国と比較して最下位レベルです
4月9日（子宮の日）子宮頸がん予防・啓発アクション
全国街頭キャンペーン取材のお願い

20代から増え始め、30代で発症のピークになる子宮頸がん。

女性の80%が一生に一度は原因となるウイルスに感染する病気ですが、
日本の検診率は42.1%。アメリカ84.5%、イギリス78.1%、韓国51.7などと比較しても非常に低い検診率です。
（出典：OECD, OECD Health at Glance 2015, Nov 2015より）

今年で11年目になる、日本最大級規模で全国47都道府県で実施する一斉街頭キャンペーンでは、
4月9日（土）の「子宮頸がんを予防する日（子宮の日）」を中心に、病院や検査機関で働く
がん発見のスペシャリストたちが、現場を飛び出し街頭やイベント会場で25歳の女性をターゲットとした無料の
ニュースレター「QL(Quarter Life)」他啓発素材を配ります。
「定期検診で防ぐことが出来るがんです」「検査はすぐに終わって、痛くないですよ」
そんな声が響く様子を、ぜひメディア等でご取材、報道いただければ幸いです。

【実施時期 時間】

2019年3月31日 神戸を皮切りに全国47都道府県全て

【場所】

全国47都道府県全て

各地の開催情報「LOVE49」で検索

【内容】細胞検査士などががん細胞発見のために現場で働く

医療従事者が、ニュースレター他啓発素材を通行人などに配布。

地域ごとの派生イベントも行われます。

【共催】細胞検査士会

【後援】厚生労働省

※混乱を避けるためにも事前の申し込みをお願いしています。

<取材に関するお問い合わせ>



認定NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

080-1213-9537（担当：ワタナベ）

メール info@orangeclover.org

<http://love49.org/>

FBやツイッターでもキャンペーンを展開中。詳しくは問い合わせを。